



Q-Series
Sahara

Input-driven compression topology

序文 (Preface)

Sahara は、迅速なワークフローと直感的な結果を実現するために設計された、シンプルで音楽的に反応するフィードフォワード・コンプレッサーです。これは、焦点を絞った手頃なツールを揃える Q シリーズの最初のリリースです。その中心には、高く評価されている P19 Igloo から採用されたカスタム「Recoil」コンプレッション回路があり、ここではシンプルさと即応性を重視して再調整されています。Sahara は、複数のパラメータを操作したり、ミリ秒単位の数値を解釈することなく、素早く行動し、感覚でミックスしなければならない瞬間のために作られました。

クラシックな入力駆動型のコンプレッション・トポロジーを採用し、Sahara は固定された内部スレッシュホールドでコンプレッションをトリガーします。つまり、ダイナミクスは入力をどれだけ強く駆動するかによって形成されます — まるでヴィンテージのアナログ機材のように。その挙動は数値ではなく音楽的にスケーリングされており、固定されたアタックタイムやリリースタイムはなく、素材とともに呼吸するプログラム依存のレスポンスを示します。しきい値の調整も、複雑なミリ秒計算も、余計な操作も必要なく、信号を Sahara に送り込み、レシオを設定するだけで動作します。

超低 CPU 負荷で設計された Sahara は、真のチャンネル・コンプレッサーとして開発されており、セッションごとに何百ものインスタンスを難なく実行できます。何でもできるわけではありません — コンプレッションだけを行い、それを美しく実現します。ヴィンテージ・ダイナミクス処理の本質を、迅速かつモダンな形で届けます。その名の由来の通り、Sahara は触れる音の風景を形作り、滑らかで流れるような輪郭をサウンドの山と谷にもたらしめます。

Ziad Sidawi — オーディオ機器デザイナー & CEO
Pulsar Modular

ピーク入力レベル(dBFS)。

リアルタイム・ゲインリダクション LED ディスプレイ

短いピークホールド付きでゲインリダクションを dB 表示し、正確な読み取りを可能にします。

黒い針: 生の入力信号(RMS)

赤い針: 出力信号(RMS)

ピーク出力レベル(dBFS)。

カーブした白いメーター: RAW入力 + Inputノブのゲインを表示

縦メーター: 入出力信号のリアルタイムピークレベル

コンプレッション量とニーを制御します。緩やか = スムーズなレベリング、強め = よりパンチの効いたコントロール

RMS 入出力レベル (dBFS)

ピークがどれだけ速くコンプレッションされるかを制御します。速い = タイト、遅い = パンチ感

コンプレッションがどれだけ速く解除されるかを制御します。Fast = より反動的、Slow = よりスムーズ

入力レベルを内部スレッショルドまで押し上げます。SHIFTキーを押しながら出力ノブで補正します。

圧縮信号とドライ信号をブレンドします。

検出回路用の HPF: 低周波(LF)によるトリガーを軽減

コンプレッション後のレベルを調整して、ゲインリダクションを補償します。



コア・デザイン・フィロソフィー

- 固定内部スレッシュホールド: -18 dBFS
- 入力駆動型コンプレッション: 圧縮量は Input コントロールをどれだけ強くドライブするかによって決定されません
- プログラム依存のアタック/リリース: 時間的な挙動は素材に応じて自動的に適応します
- フィードフォワード構成による音楽的ワークフロー: クラシックな入力駆動型コンプレッサーに着想
- レシオはニーの硬さを制御: レシオを上げるほどニーは段階的に硬くなります。 Sahara はリミッターではありません

この設計により、Sahara は現代的でレベルの高い素材に挿入した直後からゲインリダクションを適用する場合があります。これは想定された正常な挙動です。

クイックスタート(重要)

1. トラックまたはバスに Sahara を挿入します
2. プリセットを選択します
3. Shift キーを押したまま Input ノブを調整し、Output メーターが Raw Input メーターと重なり、同じ動きになるまで合わせます
4. Shift を離して音を確認します

このキャリブレーション手順により、音量バイアスなしでプリセット本来のサウンドを確認できます。 Sahara のメーターは、このプロセスを視覚的かつ直感的に行えるよう設計されています。

メーターについて (Understanding the Meters)

Sahara のメータリング・システムは、入力ドリブンなワークフローを支援し、ゲイン・ステージングおよびコンプレッションの挙動を即座に視覚化できるように設計されています。

メーターは以下の情報を表示します：

- Raw Input: Input コントロール前の信号レベル
- Trim-In: Input コントロール後の信号レベル
- Output: 最終的な出力レベル
- Gain Reduction: 適用されているコンプレッション量

Shift キーを押しながら Input を調整し、Output の針が Raw Input の針と重なり、連動して動く状態にすることで、適切なゲイン・ステージングが行われ、ラウドネス・バイアスなしでプリセット本来の音を確認できます。

GR メーター (LED)

Sahara のゲイン・リダクション表示は、リアルタイムの視覚的フィードバックと正確なピーク・モニタリングを組み合わせています。10 セグメントの LED バーは瞬間的なゲイン・リダクションを表示し、音楽的なコンプレッションが最も多く発生する 0~6 dB の範囲を意図的に強調したスケールになっています。

専用の数値表示は、現在のゲイン・リダクション量を dB 単位で表示し、ピーク値を一時的にホールドした後、リアルタイム表示に戻ります。このデュアル表示により、感覚的にコンプレッションを判断しつつ、トランジェント制御や詳細なモニタリングに必要な正確さも確保できます。

コントロール解説

INPUT

Input は、信号が Sahara の固定内部スレッシュホールドにどれだけ強く当たるかを制御します。

- Input を上げるとコンプレッション量が増加します。
- Input を下げるとコンプレッション量が減少します。
- Shift を押しながら操作すると、Input と Output が逆方向にリンクし、レベルを揃えたゲインステージングが可能になります。

INPUT はトリムではなく、ドライブ・コントロールとして捉えてください。

OUTPUT

Output は、コンプレッションによって生じたレベル変化を補正します。

Shift と併用することで、Input を自動的に相殺し、音量ではなくフィーリングに集中できます。

RATIO

使用可能なレシオ: 1.5、2.5、4、7、10、20、40

Ratio はコンプレッションの強さとニーの硬さの両方を決定します。

- 低いレシオはソフトで扱いやすい挙動になります。
- 高いレシオはコントロールを強め、ニーを硬くします。
- 高いレシオ設定でも、Sahara はトウルー・リミッターではありません。

アタック(ATTACK)

アタックは、信号に対してコンプレッションがどれだけ速く立ち上がるかを調整します。

- 負の値(速い):よりシャープなアタキュレーション、トランジェントの明瞭さが向上
- 中央(0):ニュートラルな挙動
- 正の値(遅い):丸みのあるトランジェント、スムーズなコンプレッションの入り

ブラインドラムやボーカルのような繊細な素材では、アタックはダイナミクスだけでなくトーンにも大きく影響します。

リリース(RELEASE)

リリースは、コンプレッションがどれだけ速く解除されるかを調整します。

- 負の値(速い):タイトなテール、より強いコントロール感、空気感は控えめ
- 中央(0):バランスの取れた回復
- 正の値(遅い):空気感、奥行き、グルーヴを保持

リリースはグルーヴやフレージングに強く影響します。特にアコースティック素材やバス処理では、大きな正の値が自然で、むしろ好ましい場合も多くあります。

MIX

MIX は、Sin 6 dB のコンスタントパワールールを用いて、圧縮された信号(ウェット)と未処理の信号(ドライ)をブレンドし、知覚上のラウドネス変化を滑らかに保ちます。

- 低い値ではオリジナル信号の比率が高くなります
- 高い値ではコンプレッションの効果が強調されます
- 強いパラレル・コンプレッションでは、ドライ成分を多めに残すことでパンチ感と低域を維持できます

Sidechain HPF

コンプレッサーの検出回路に送られる信号に、段階式のハイパスフィルターを適用します。これにより、低周波成分が不要なゲインリダクションを引き起こすのを防ぎます。パンチ感を保ち、ポンピングを抑えるのに有効です。

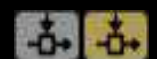
Sahara は入力駆動型コンプレッサーであるため、Attack と Release の両パラメータは固定時間ではなく「音楽的」に動作し、信号に応じて動的に適応します。



バイパスボタンを使うと、処理されていないオーディオ信号がそのまま通過します。

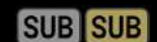


Dry Polarity は、処理されていないドライオーディオ信号を反転させます。



外部サイドチェインボタンを使うと、コンプレッション検出回路に送られる信号

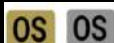
として外部ソースを利用できます。外部ルーティングのオプションや手順については、お使いの DAW のマニュアルを参照してください。



SUB ボタンは、20 Hz に固定されたプラグイン内部のハイパスフィルター (HPF) をバイパスします。これによりカットオフ以下の周波数が減衰するのを防ぎ、低域のエネルギーに寄与するサブベース成分を保持します。エレクトロニック・ミュージック、ヒップホップ、ダブステップなどのジャンルで不可欠な力強いベース基盤を維持するために、この機能を活用してください。



Hammer 回路はオーディオの周囲にハロー効果を与えます。これは周波数依存型であり、ボイス帯域に最適化されています。



オーバーサンプリングのオプションは信号全体に適用されます。OS がオフの場合、Sahara はレイテンシーなしで動作します。



VNT (ヴェンテージ) モードはホストのサンプルレートの 2 倍で動作し、高域にスムーズなフィルターを適用してクラシックなロールオフ特性を生み出します。エイリアシング信号はあえてフィルタリングせずに残し、ヴェンテージ的な滑らかさとモダンな非高調波歪みを融合させます。



INT (インテリジェント) モードはホストのサンプルレートの 2 倍で動作し、全周波数スペクトルをスキャンしてエイリアシング信号を減衰させます。この高度なフィルタリングは、信号の周波数と強度に大きく依存します。



HD モードでは、44.1 kHz および 48 kHz で 8 倍、88.2 kHz および 96 kHz で 4 倍、192 kHz で 2 倍のオーバーサンプリングを行います。



A/B は一時的な保存を可能にし(プリセット内には保存されません)、A と B の素早い比較を容易にします。A | B エリアをクリックすると 2 つの間を切り替えられます(マウスを動かす必要はありません)。矢印ボタンを使うと、アクティブな側を非アクティブな側にコピーできます。プリセットは比較のために A または B のいずれかのプレースホルダーに読み込むこともできます。



About: バージョン番号と有効期限を表示します。

License Status: プラグインの認証／認証解除を行います。

User Guide: ユーザーガイドを開きます。

Set Default Size: このグローバル設定により、現在の GUI ウィンドウサイズが新しいインスタンスのデフォルトとして適用されます。

高度なワークフロー

以下のテクニックは、Sahara の基本的なワークフローに慣れた後に活用できる、より深い使い方を紹介します。

- **高いレシオ:** 20:1 を超えるレシオはリミッターとして動作するわけではありません。その代わりに、ニーを徐々に硬くし、ブリックウォール的な挙動を伴わずにコントロール性と密度を高めます。これにより、明確なリミッティングアーティファクトを生じさせることなく、引き締めりとフォーカスを加えることができます。
- **外部サイドチェイン:** 外部サイドチェインを使用することで、何がコンプレッションをトリガーするかを再定義できます。DAW のルーティング機能に応じて、リズムカルなインタラクション、ダッキング、または特定周波数にフォーカスしたコントロールなど、創造的な用途に活用できます。
- **Input のオートメーション:** Shift 連動の Output を使用しながら Input をオートメーションすることで、Sahara の固定された内部スレッシュドを変更することなく、ダイナミックなコンプレッション操作が可能になります。これはアナログ・コンプレッサーでのゲインライドに近い挙動で、LOUDネスを一定に保ちながら時間的にダイナミクスを整形します。
- **パラレルおよびバス用途:** Sahara はバスやパラレル経路で特に威力を発揮します。プログラム依存のタイミング特性により、ソース同士を自然にまとめ上げます。控えめな Mix 設定でも、グルーブやパンチを保ちながら密度を高めることができます。

プログラム依存の挙動とバッファサイズ

Sahara のダイナミクスは、DAW のバッファサイズに応じて反応します。

- **小さいバッファサイズ:** よりタイトで即応性のある感触
- **大きいバッファサイズ:** よりスムーズで接着感のある挙動

この挙動は意図されたものであり、Sahara の音楽的なレスポンスの一部です。プリセット自体はバッファサイズに関係なく有効ですが、セッションの状況に応じてフィーリングがわずかに変化することがあります。

プリセットを効果的に使う方法

Sahara のプリセットは完成形ではなく、出発点として設計されています。

プリセットを読み込んだら、以下の手順を行ってください。

1. Shift キーを押したままにする
2. Output の動きが Raw Input と一致するまで Input を調整する
3. 音を聴きながら Input、Attack、Release を微調整する

プリセットはジャンル別ではなく、音楽的な意図に基づいて分類されています。

プリセットの設計思想

- プリセットは現代的な素材を前提に調整されています
- ゲイン・ステージングはワークフローの一部です
- 極端な設定も意図的で、音楽的に成立するように設計されています
- Attack や Release の大きな値は正常であり、よく使われます

数値ではなく、自分の耳を信じてください。

グルーヴとフレーズが判断の指針です。

最後に

Sahara は数値を追いかけるためのツールではありません。

インタラクション、フィーリング、そして音楽的なタイミングを重視した設計です。

メーターはあくまでガイドとして使い、判断はリズム、アーティキュレーション、感情に基づいて行ってください。

グルーヴしていれば、それが正解です。

プリセットマネージャー

プリセットは、異なるフォルダー、サブフォルダー、またはルート間でドラッグ & ドロップして移動できます。クリックするとプリセットを読み込み、ダブルクリックするとプリセットを読み込んでプリセットマネージャーウィンドウを閉じます。

お気に入りフォルダー — お気に入りのプリセットを自動的に表示します。

展開/折りたたみ矢印 — フォルダーまたはサブフォルダーを開閉します。

左側のパネル(ツリービュー) — フォルダーとサブフォルダーを表示します。

★(アクティブな星): このプリセットはお気に入りにも登録されています。

新しいフォルダー: 新しいフォルダーを作成します。

保存: 選択したプリセットを上書きします。

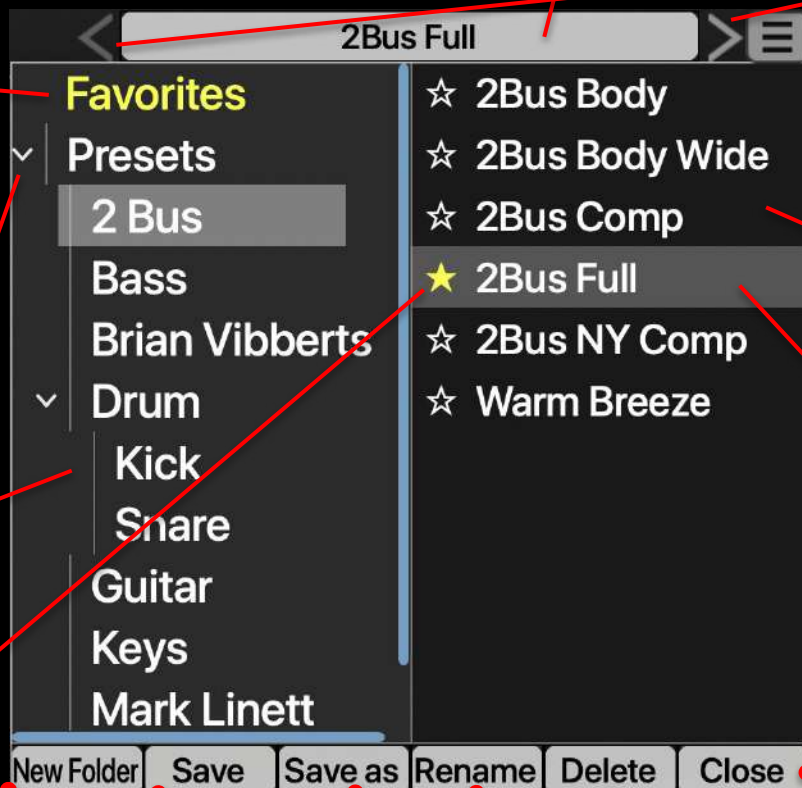
名前を付けて保存: 現在の設定を新しいプリセットとして保存します。

名前を変更: プリセットまたはフォルダーの名前を変更します。

削除: 選択したプリセットまたはフォルダーを削除します。

プリセット名フィールド — 現在読み込まれているプリセット名を表示し、クリックするとプリセットマネージャーを開きます。

矢印ボタン — 同じフォルダー内で前または次のプリセットに移動します。



右側のパネル(リストビュー) — 選択したフォルダー内に含まれるプリセットを表示します。

選択されたプリセット — シングルクリックで読み込み、ダブルクリックで読み込んでプリセットマネージャーを閉じます。

閉じる: プリセットマネージャーウィンドウを閉じます。

修飾キー (Modifier Keys)

パラメータを一時的にバイパス

CTRL+ALT (Windows) または CMD+OPTION

(macOS) + マウスオーバー

- INPUT (デフォルト 0)
- MIX (デフォルト WET)
- S/C HPF (デフォルト OFF)

オプションを切り替え

左クリック = 前へ、右クリック = 戻る

- OS VINT, INTEL, HD

ゲイン補償

SHIFT

- INPUT (OUTPUT ノブで補正)
- OUTPUT (INPUT ノブで補正)

オートメーション用にパラメータを有効化 (Pro Tools のみ)

macOS: Control + Command + Option (^ + ⌘ + ⌥)

Windows: CTRL + ALT + START

ノブ、スライダー、その他のコントロールを微調整

macOS: Control (^) を押しながらクリック & ドラッグ

Windows: CTRL を押しながらクリック & ドラッグ
または、修飾キーなしで右クリック & ドラッグ
コントロールをデフォルト状態に戻す

macOS: Option (⌥) を押しながら左クリック

Windows: ALT を押しながら左クリック
または、修飾キーなしでダブルクリック

プリセットの管理

基本

インストール時また daアップデート時に Install Presets オプションが有効になっている場合、ファクトリープリセットは上書きされることがあります。ユーザーが作成したプリセットは影響を受けません。

ファクトリープリセットを編集しており、それらを保持したい場合は、インストーラー実行時に Install Presets オプションを無効にしてください。また、プリセットブラウザの Save As 機能を使用して、編集したプリセットを新しい名前で作成することを推奨します。

プリセットのバックアップ

プリセットは、使用しているオペレーティングシステムのファイルマネージャーを使って手動でバックアップおよび復元できます。個別のプリセットファイル、またはプリセットフォルダ全体を任意のバックアップ場所にコピーしてください。

プリセット保存場所 :

- **Windows:** C:\Users\Public\Documents\Pulsar Modular\Q Sahara\Presets
- **macOS:** /Users/Shared/Pulsar Modular/Q Sahara/Presets

Pro Tools プリセット管理

Avid Pro Tools で Q Sahara を使用する場合、Pro Tools は他の多くの DAW とは異なる方法でプラグインのプリセットを管理します。Q Sahara の内部プリセットシステムを Pro Tools 独自のプリセット管理とシームレスに連携させるために、次の手順に従ってください。

1. プラグインのデフォルト動作を設定する
 - プラグインウィンドウ上部のヘッダーバーにあるプリセットドロップダウンメニューを開きます。
 - 次に Settings Preferences → Set Plug-In Default to → User Setting を選択します。
 - これにより、Q Sahara はプラグインを挿入するたびに工場出荷時のデフォルト設定に戻るのではなく、最後に使用した設定やユーザー定義の設定を自動的に呼び出すようになります。
2. プリセットをセッションフォルダーに保存する
 - もう一度プリセットメニューを開き、Settings Preferences → Save Plug-In Settings to → Session Folder を選択します。
 - これにより、すべてのカスタム Q Sahara 設定がグローバルな設定ディレクトリではなく、現在の Pro Tools セッションフォルダー内に保存されます。
 - この設定は、共同作業や別のシステム間でセッションを移動する際に特に便利で Q Sahara の設定がセッションと一緒に自動的に移動します。

ヒント: 両方のオプションを有効にすると、Pro Tools と Q Sahara の内部プリセットブラウザー が連携して動作し、セッション間で一貫したリコールとスムーズなプリセットワークフローを実現します。

Q Sahara のアンインストール

Windows

- VST3: C:\Program Files\Common Files\VST3\Pulsar Modular にある「Q Sahara.vst3」フォルダーを探して削除します。
- AAX: C:\Program Files\Common Files\Avid\Audio\Plug-Ins\Pulsar Modular にある「Q Sahara.aaxplugin」フォルダーを探して削除します。
- Shared: C:\Users\Public\Documents\Pulsar Modular にある「Q Sahara」フォルダーを探して削除します。このフォルダーにはユーザーガイドとプリセットが含まれています。Pulsar Modular 配下に他のフォルダーが存在しない場合は、このフォルダー全体を削除して構いません。

macOS

- AU: /Library/Audio/Plug-Ins/Components にある「Q Sahara.component」ファイルを探して削除します。
- VST3: /Library/Audio/Plug-Ins/VST3/Pulsar Modular にある「Q Sahara.vst3」ファイルを探して削除します。
- AAX: /Library/Application Support/Avid/Audio/Plug-Ins/Pulsar Modular にある「Q Sahara.aaxplugin」フォルダーを探して削除します。
- Shared: /Users/Shared/Pulsar Modular にある「Q Sahara」フォルダーを探して削除します。このフォルダーにはユーザーガイドとプリセットが含まれています。Pulsar Modular 配下に他のフォルダーが存在しない場合は、このフォルダー全体を削除して構いません。

プラグイン設計: Ziad Sidawi
プラグイン開発: Mesut Saygioğlu
GUI 開発: Max Ponomaryov / azzimov GUI design – www.behance.net/azzimov
ユーザーガイド: Burak Öztop

テスター: Leo Alvarez Mátyás Dobány Kevin Eagles Simon Pietroni
Gus Granite Matthias Klein Discord community

このユーザーガイドの誤りや不足については、psupport@pulsarmodular.com までご連絡ください。

Copyright 2026, Pulsar Modular™

P/N: 71221, Rev. 1.0

Q Sahara is a plugin name owned by Pulsar Modular™

制限事項

ユーザーは、Pulsar Modular のオーディオプラグインを、レンタル、リース、配布、再パッケージ（営利・非営利を問わず）の目的で、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、再サンプリング、インパルスレスポンスプロファイルの作成、再録音、デコンパイル、変更、あるいは部分的または全体の改変を行ってはなりません。

AAX および Pro Tools は Avid Technology の商標です。名称およびロゴは許可を得て使用しています。

Audio Units は Apple, Inc. の商標です。

VST は Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。

ここに記載されているその他すべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Pulsar Modular™ is a trademark of Ziad Al Sidawi SPC, Muscat, Oman.

All other trademarks are the property of their respective owners.

Pulsar Modular™

Unit 52, Building 348, Way 5001, Block 250

South Aludhaybah, Bawshar, Muscat

Sultanate of Oman

pulsarmodular.com